

## 慶應義塾大学メディアセンターにおける XooNIpsの活用事例

2007-07-19 XooNIps WS  
慶應義塾大学メディアセンター本部  
CSI-WG 入江 伸

### 慶應義塾メディアセンターにおけるデジタルプロジェクト

- 国立情報学研究所次世代学術コンテンツ基盤構築事業(CSI)
  - 学内紀要・学会誌印刷、出版、流通のデジタル基盤
  - 研究素材としての貴重書eBOOK
  - アーカイブシステム KOARA(KeiO Academic Resource Archive)
- 創立150年事業向け貴重資料デジタル化と公開
  - 古写真
  - 福澤関係文書
- デジタルアーカイブリサーチセンターとの連携
- MLA(Museum Library Archive)とのアーカイブ連携研究
- IPAオープンソースソフトウェア・センター、OSSユーザー懇談会

## XooNIpsを選定したポイント

- 機能評価の実施
  - 機関リポジトリとしての機能評価
  - ポイント：OAI-PMHの実装 大量データの扱い  
一括登録 日本語検索への対応
  - 問題点：URLの固定化ができない(Handle)  
共通スキーマの拡張が難しい(ソート項目等)
- 特徴点の高評価
  - XOOPSにデータベース層を追加する構成
  - Tree型のビューブラウジング機能 アイテムタイプ開発の可能性
- その他のポイント
  - 理化学研究所による開発と運用実績
  - 新しいコミュニティとの連携
    - 研究者の視点で開発されているアーカイブシステムへの興味
    - XOOPSを利用していることによるSNS的要素
  - 情報基盤としての豊富で多様な選択肢の準備
    - DSpaceしか選択肢がないのはさびしい
  - システムはツールでデータが重要という割り切り(?)

## XooNIpsの課題と研究所と図書館の違い

- 大量データ処理への対応
  - データ登録、検索などの性能
  - 公開・取り下げ (Privateからpublic への移動) 処理等の操作性
- 図書館コミュニティでの標準メタデータ
  - すべての資料共通の大きなメタデータを使う
  - MODS(Metadata Object Description Schema)
- 図書館は保存と永続性が重要
  - Handle は DOI への実装による URLの永続性

## XooNIps-Library モジュールとは何か

### ○目的

- 図書館用アイテムタイプを開発し、機関リポジトリとして利用できるよう対応する
- 図書館での利用の促進を目指す

### ○内容

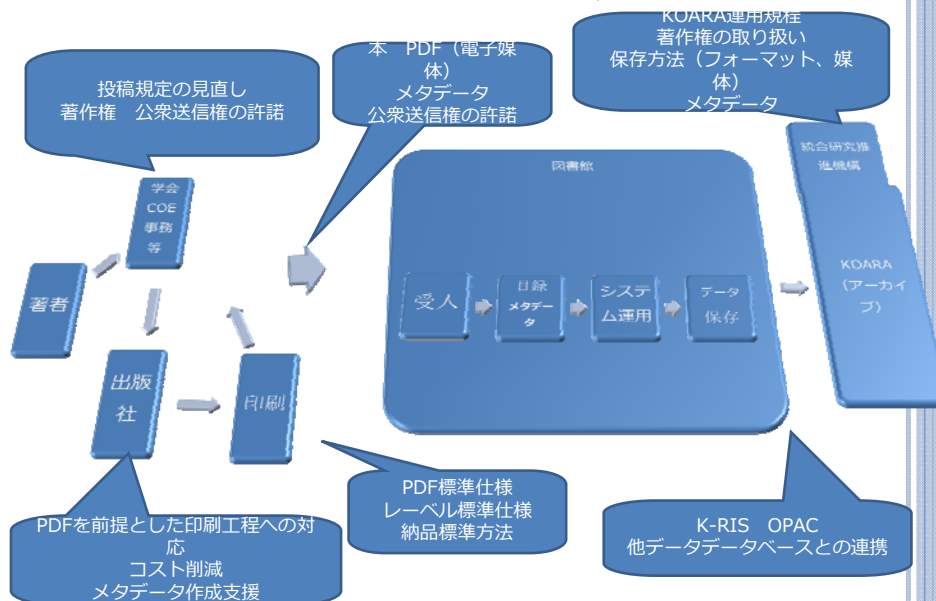
- 機関リポジトリとしての運用に適した項目を持つ(MODS)
- OAI-PMH JuNii2(NII定義) フォーマットに対応

### ○開発主体

- 理化学研究所のサポートを受け、慶應義塾大学にて可能な範囲で、XooNIps本体の改修に対応

## 慶應義塾CSI事業の特徴

### - 学会、出版社、印刷、メディアの連携 -



慶應義塾CSI事業の特徴  
- システム連携 -

K-RIS 業績DB



EJ OPAC

Google mini



MODSスキーマ

KOARA

